

京都市の学校教育の重点、
「次世代の子どもを創造する子ども」

令和4年度 桂川小学校 学校教育グランドデザイン 学 校 教 育 目 標

自ら考え、判断し、行動する子の育成
～自分意識をもって行動し、よりよい未来の創り手を育てる教育の創造～

め ざ す 子 ど も 像

か 感謝する子、感謝される子 つ つよく、しなやかな心と体の子 ら らしさを認め、つながりを大切にする子
が 学習に進んで取り組む子 わ わかるように自分のことばや方法で伝え合う子

め ざ す 教 職 員 像

すべての児童が学びやすい学校を作り、すべての教職員で働きやすい学校を作る

○多様な児童の成長を認める教職員 ○これからの学校教育を創造する教職員
○児童の見本となる教職員 ○すべての児童に確かな学びに寄り添う教職員

本年度の桂川小学校の目指す学校像

「とらわれない」「おそれない」「あきらめない」持続可能という視点から考える学校システムの刷新

GIGAスクール構想のもと 「情報活用能力」の資質・能力の向上

・GIGA端末を活用した授業の展開
・プログラミング的な思考(論理的な思考)の醸成
・系統立てた情報モラル教育の確立
・授業改善とカリキュラムマネジメントの一体化
・クラウドサービスを活用した校務の効率化

生徒指導の三機能を意識した すべての子どもに居場所と役割のある授業

・子どもの主体的な学びのために、教職員は我慢して待ち、見守る。
・誰一人取り残さない学校・学年・学級づくり
・自己決定のある日々の授業づくり
・子どもの自己存在感を大切にする心の育成
・共感的な人間関係に支えられる仲間づくり
・大きな声で叱らない指導の徹底

多様性を認める 新しい学校・学年・学級づくり

・多様な児童の違いを認める学校体制
・支援の必要な児童に対する確かな手立て
・多様な働き方を許容する学校文化の創造
・桂川スタンダードを基本とした、共通理解を超えた共通実践
・大胆に改革して、頑固に守り、持続可能な学校教育改革につなげる